



杉並景観録 Keikikan-Roku

第九号



●発行日 16年3月22日
●発行 杉並区都市整備部まちづくり推進課
TEL3312-2111 (代) 内線3515

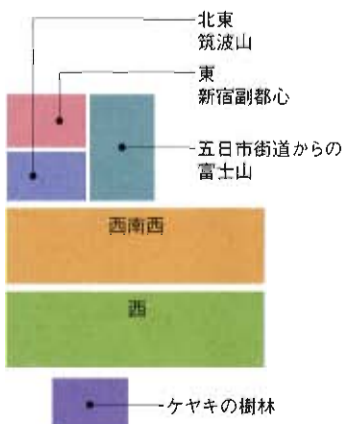


スカイライン

山や建物などが空を背景として描く輪郭線をスカイラインといいます。杉並のスカイラインはどうなっているのでしょうか。

これから入学式の季節ですが、杉並の小学校の校歌には富士山が多く出てきます。大きな建物がなかったころは校庭などから富士山を眺めることができたのでしよう。天気の良い日に高い建物の屋上から眺めると、西には山々が連なりその後ろに富士山が見えます。ここ数年は年間でも百日近く見えるそうです。また、東を眺めると新宿副都心のビル群が良く見えます。かつては屋敷林を構成しているケヤキの樹林が杉並のスカイラインの特徴でどこでも良く見えたものです。時代とともにスカイラインも変化しています。

国では景観についての法律が検討され、スカイラインや景観をみんなで作る時代になりました。



杉並区では自然と歴史的環境に調和し、杉並らしい魅力的なまちなみづくりに貢献している建物や地域活動等を、杉並「まち」デザイン賞として表彰しています。

広報、ポスター等を通じて候補を募集したところ、61件の推薦、応募がありました。選考委員会での審査を経て、次の5件に決まりました。

第8回 杉並「まち」デザイン賞

大好きなまちだから、みんなに教えたい



萩窪の生垣
萩窪1-15



南萩窪の住宅
南萩窪2-25



バラシオデヒロ
高円寺北3-32



阿佐谷南の一本の木
阿佐谷南1-25



ギャラリー寿庵
西荻北4-5



菩提樹(大宮八幡宮)



杉並南郵便局

菩提樹(大宮八幡宮)
和田堀公園

清涼院(結城秀康側室)が植樹したと伝えられ、都の天然記念物とともに区の貴重木にも指定されています。和田堀公園の開放的な競技場周辺は、陽光あふれる憩いの場となっています。



和田堀公園



鉄門(妙法寺)



山門(妙法寺)

杉並 和田郵便局

明治11年につくられた和洋折衷様式の鉄門で、国の重要文化財に指定されています。妙法寺はやくげ祖師として、地元で親しまれているのは勿論、遠くからも多くの人が参詣に訪れます。

手紙で届ける風景

喧騒の毎日の中で、ゆっくりと風景を楽しむ時間を忘れていませんか。そんな時、手紙を書いてみてはいかがでしょうか。

手紙に添えられた「風景印」が、杉並のゆつたりとした風景を届けてくれます。また、見知らぬまちからあなたのもとに、素敵な風景の便りが届くかもしれません。

手紙を出す時、たまにはまちの風景を楽しみながらちよつと郵便局まで足をのばして、一言、「風景印を押してください。」と试试看は…。

風景印を押してもらうには……

郵便局の窓口で官製はがき、もしくは50円以上の切手の貼ったものを持参し、依頼します。手紙として誰かに差し出す場合は、郵便局に預けます。記念に自分で取って置く場合は、そのまま持ち帰ることができます。

「馴染み」のある風景

まちを歩くと、自然と目につく光景があります。そのひとつが、お豆腐屋さんです。

形や大きさの違う鍋やボールを持つて集まるお客さん、窓越しに見える豆腐作りの様子、お客さんとお店の人の楽しそうな会話。そこには、よく目にするお馴染みの光景があります。

商店街の賑わいや、私達の日常の何気ない活動が醸し出す雰囲気は、建物や道路といった街並みと共に地域の風景をつくります。人はまちをつくり、まちを育んでいきます。うらおいのある美しいまちをつくるのは、そこに生活する私達一人ひとりなのです。



すぎなみ／ひと／まちなみ

SPECIAL EDITION



杉並区内では、6つの郵便局が風景印を持っています。

風景印



菩提樹(大宮八幡宮)

杉並 堀ノ内郵便局

菩提樹
(大宮八幡宮)
和田堀公園



和田堀公園

和田堀池付近は深い緑に囲まれ、都心では珍しいカワセミが見られることもあります。川をはさんだ大宮八幡宮の鎮守の社と一体となった景観は、今でも杉並の原風景の面影があります。



七夕(阿佐谷)

杉並郵便局

鉄門(妙法寺)
七夕(阿佐谷)

七夕まつりは阿佐谷を代表する夏の風物詩です。昭和29(1954)年から開催されて、昨年で50回の節目を迎えました。



鉄門(妙法寺)



塚山公園の敷石広場には縄文時代の復元住居が設けてあり、当時の生活の様子を知ることができます。公園事務所にはみどりの相談所があり、土日に園芸相談を受け付けています。

杉並下高井戸郵便局

塚山公園事務所
塚山公園園名板
下高井戸塚山遺跡(塚山公園)



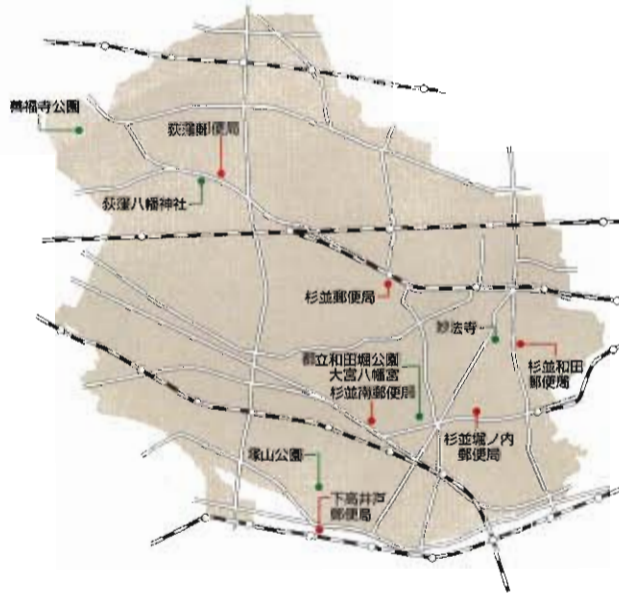
塚山公園事務所



下高井戸塚山遺跡



塚山公園園名板



皆さんは「風景印」をご存知ですか。郵便局に行って、希望すると押してもらえぬ図案が入った消印のことを指します。正式には「風景入通信日付印」といいます。直径3cm程の赤茶色のインクで押され、普段目にする通常の黒色の消印と比べると、一回り大きいものです。図案にはその土地の名所旧跡など、地域にちなんだ風景が描かれています。

※風景印の×印には、日付が入ります。



萩窪郵便局

今川家累代の墓(観泉寺)
善福寺公園
道灌橋(萩窪八幡神社)

杉並区に点在する社寺や公園の樹木と、わずかに残る貴重な屋敷林は「みどりの都市」杉並の骨格を担っています。いつまでも大切にしていきたい区民の財産です。



道灌橋(萩窪八幡神社)



善福寺公園



今川家累代の墓(観泉寺)

大田黒公園は、大田黒元雄氏の屋敷跡を日本庭園として整備したものです。公園にするにあたって、できる限り既存樹木を残したので、園内には樹齢100年をこえるイチヨウ並木をはじめ、ケヤキ、シイノキなどの巨木が生育しています。秋になるとこれらの木々が、見事な紅葉を見せてくれます。特にイロハモミジの紅は素晴らしいです。

そこで、平成15年11月20日(木)から開園時間を午後8時まで延長し、夜の紅葉を区民の皆さんに見ていただけるようにライトアップをしました。好評により当初の予定を延長して、12月7日(土)まで実施しました。今年もライトアップを予定しています。

杉並の新たな名所になることでしょう。



大田黒公園の 紅葉を ライトアップ

景観に関する 基本法が 予定されています。

我が国で初めての景観に関する基本法が今国会に上程されています。法律(案)によると、地方公共団体等は良好な景観の形成を図るために、景観計画を定め、区域を指定して、区域内の建築物の建築等に対する届出・勧告による規制や、変更命令ができるようになります。さらに、より積極的に景観形成を図る重要な地区については、景観地区と定め、建築物や工作物のデザイン、色彩についての制限等を行うことができます。また、地区内の住民合意によるきめ細やかな景観に関するルールづくりや、NPO法人等を景観整備機構に指定し、景観上重要な建造物の管理を行うことができるなどとなっています。

区は、改めて区民の皆様と良好な景観形成に取り組んでいきたいと考えています。

中杉通り沿いの塀が 楽しいまちかどに

「まちかどアートプロジェクト」完成
まちかど修景整備事業

区立杉並第一小学校

区の呼びかけで、区立杉並第一小学校の3～5年生の希望する児童を中心として、プロジェクトチームがつくられ、計画案をまとめました。

昨年夏には、この計画案をもとに工事を実施し、9月9日に完成しました。出来上がった塀には、学校で元気に学ぶ子どもたちが、躍動感あふれる動きで表現されています。この絵は6年生全員でつくった型枠を塀に埋め込んで描いたものです。

これからも、この場所をまちのアクセントとして、景観まちづくりの見本となるよう、学校とともに育てていきたいと思っています。



新しくなった塀の前で
(学校提供)

安全で活気のある まちづくり計画とは

第9回「杉並で学ぶ」
東京電機大学公開授業

杉並のまちづくりをテーマとした、東京電機大学建築学科による公開授業が、杉並区と共催で開催されました。今回のテーマは「防災・防犯まちづくり」「JR高架下の利用」「団地の再生」「駅周辺まちづくり」です。

杉並区の各地区を対象に学生が、区内を歩き、地域の人々の話を聞き、まちを調査・分析しました。10月24日にまちづくりの課題を、1月8日にはその解決策を学生の視点から発表しました。発表会では、多くの区民の方や関係者が参加して、学生の提案に対して活発な意見交換が行われました。



区民の前で
発表する学生